

FD・ICT教育推進室が進めている 学士課程教育の改革におけるFD推進と 教育実施・支援モデルの構築

＜平成20年度政策課題対応経費「学士課程教育の
改革に伴うFD推進と教育実施・支援モデルの構築」に
基づく活動・研究成果報告書＞

平成21年3月

金沢大学 FD・ICT教育推進室

はじめに

本学は『大学憲章』（平成16年4月1日制定）において、教育重視の研究大学という位置付けをしております。その具体化として、「教員の改善のために教員が組織的に取り組むFD活動を推進して、専門知識と課題探求能力、さらに国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材を育成する」と明記しています。こうした人間育成目標を達成していくために、私たち教員・職員の教育力が問われていることとなりますが、設置基準の規定を引用するまでもなく、こうした取組が、それぞれの高等教育機関ごとに行われているわけです。

他方、中教審は最近の答申等におきまして、私たちの努力に対してかなり厳しい注文をしています。大学等が保証する能力の水準があいまいになっている、国際的に通用する教育水準確保に枠組み作りを求めるということも言っています。「学士力」という言葉を使って、その向上を期待し、注文をしているところです。

私たち教員、職員が、主体的に、さらに一層、自らの力によって教育の力を高めていく努力が求められているわけです。これを進めていくうえで、ICTがFDやSDに対して一定の役割を発揮するとの考えの基に、本学では、この間、集中的に取り組んでまいりました。

すなわち、平成16年度採択現代GP「IT教育用素材集の開発とIT教育の推進」をきっかけとして、総合メディア基盤センター、大学教育開発・支援センターを中心に、ICT活用教育の全学展開を進めてきました。その後、平成19年度には、「ICT教育推進室」を設置し、本年度は、政策課題対応経費「学士課程教育の改革に伴うFD推進と教育実施・支援モデルの構築」遂行および学士課程FD義務化対応のため、名称を「FD・ICT教育推進室」と変え、ICTを活用し、各種学内システムを連携させる組織的FD支援体制の構築に努めてきたわけです。

こうした取組は、学内外で評価される所となり、本年2月14日に開催しました第6回大学教育セミナー「FD・ICT教育推進室が進めている学士課程教育の改革に伴うFD推進と教育実施・支援モデルの構築（最終報告）」（主催：金沢大学大学教育開発・支援センター、共催：金沢大学総合メディア基盤センター、金沢大学学生部）には、遠く沖縄から、また高知、山口等からの参加者を含め、160名を超える参加者となりました。

この報告書をお読みいただければ、授業内容の改善をしていくうえで、ICTの活用は有効であることが理解いただけると思われまます。

もちろん、ICTを活用した授業方法の改善努力に対しては、やはり肝心は授業内容である、中身が肝心であるという指摘があることも承知しており、授業内容改善あるいは、学生の学習内容改善に、今まで以上に有効なICT技術の活用と

ということが課題となっていると実感している次第です。

なお、このようにして、本学はいわゆる e ラーニングを進めていますが、それを基点に、新たに実施する教員免許更新研修においても、e ラーニングを活用した取組みを行います。ただいま、東京学芸大、愛知教育大、千歳科学技術大学、金沢大学が連携して e ラーニング教材を作っています。ここでも、基本となる対面教育をより充実するために、側面からこの ICT を使った支援の意味があると確信し、他の高等教育機関との緊密な連携を促進して、その努力を重ねてまいりたいと考えております。

本報告書における、実践記録、研究成果の上に、日本の高等教育機関全体の ICT を生かした FD のモデルとなるように、引き続き頑張ってまいります。

また、本報告書を、各高等教育機関におかれましてもご活用いただき、忌憚のないご意見・ご要望等をお寄せいただければ幸いです。

平成 21 年 3 月

伍賀 一道

金沢大学学長補佐、FD・ICT 教育推進室長

目 次

はじめに

第一部

金沢大学FD・ICT教育推進シンポジウム「ICTを利用した組織的FD活動—学士課程教育の改革に伴うFD推進と教育実施・支援モデルの構築（中間報告）—」2008年11月7日開催

…… 1

第二部

第6回大学教育セミナー「FD・ICT教育推進室が進めている学士課程教育の改革に伴うFD推進と教育実施・支援モデルの構築（最終報告）」2009年2月14日開催

…… 95

第三部

各種研究会等における活動成果・研究成果の報告

……203

第四部

ポータルシステム構築のための仕様書

……295

おわりに